

事業所名 あつた家きゃっと

作成日: 令和 2年 12月 30日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束廃止に関して、拘束にあたる人がいなくても、身体拘束をしないための検討が必要である。	身体拘束廃止に向け、職員と検討していく。対応については、職員間で周知・徹底していく。	月1回の定例会議で検討する。運営推進会議の中で、身体拘束廃止に向けての取り組みもお伝えしていく。	3ヶ月
2	27	計画書の評価について、毎月行う事で職員・担当の関わり方が変わってくるのではないか。	新様式の作成。新規・見直しの方から新様式に変更し、実践していく。	職員が、入居者の方々との関わりの中で「気づき」が多く感じられるようになり、サービス向上につなげていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。